

週刊

こんにちは日本共産党です  
**八千代市議団ニュース**

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
 いはら 忠 ☎(488)7207

発行  
 日本共産党  
 八千代市議会議員団  
 八千代市大和田新田  
 312-5  
 ☎(483)1151

## 6月議会に向け市民懇談会を開催

日本共産党市議団は23日、6月議会に向け市民のみなさんからの要望を聞く懇談会を開催しました。

最初に、3月予算議会の特徴、秋葉市政の財政再建の名のもと、市民負担増押しつけの実態、秋葉市政と市議会の関係は、日本共産党市議団の役割などについて報告を行いました。

### 市民の皆さんから切実なご意見・ご要望が

続いて市民のみなさんから、6月議会に向け是非取り上げてほしい要望・意見が出されました。



年金者の方から、3月議会に4本の請願を出したが、ふれあいプラザへのバスの運行が復活できたこと、配食サービスについては、100円を補助することで制度として残ったが、介護保険料・国民健康保険料が大幅に引き上げられ、年金の削減と併せ耐えがたい負担増で、生活が成り立たないとの意見が出されました。

又、村上団地にお住まいの方から、リブレ京成の撤退で買い物難民となっている、URとの交渉で、スーパー大手の感触があるが、200万円の負担に難色を示しているとのこと、八千代市も市民の暮らしを守る立場から、コンビニの誘致など積極的に取り組んでほしいとの要望が出されました。

八千代台にお住まいの方から、八千代台南三菱UFJ銀行わきの道路が狭く、歩行者も車を運転する人もヒヤヒヤしながら通っている、拡幅が難しいのであれば、せめて電柱の移設か地中下にしてほしいとの訴えがありました。

プレミアム付き商品券の発行について、ある政党が取り上げて実現したと言っているが、景気回復につながるのか、25%のプレミアムを付けても市民の購買力が低下しているなかで疑問との声が出されました。

教職員の多忙化・過密労働の実態について、文部科学省の指針では、月80時間を超える残業で、過労死につながると言われているのに、小学校18.3%、中学校21.2%が80時間を超えている、ミニバスの引率など改善がされつつあるが、議会からも指摘してほしいとの要望が出されました。

さらに、英語教育のあり方について、小学校1年生から週1回行われているが、肝心の英語教育を担う先生を、英語指導助手、ボランティアに頼っているのが実態、しかも、ボランティアの方の交通費も出ない、ボランティア保険についても検討しますとどまっている、本来教育委員会が責任をもって行うべきなのに、学校任せになっているとの意見がありました。

日本共産党は、出されたご要望など6月議会の一般質問、各常任委員会で実現すべく奮闘する決意です。